第44回
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

優　勝　豊上ジュニアーズ

準優勝　東深井ボーイズ

第三位　前ヶ崎クラブ

第四位　三郷ノースベアーズ



開催期間　　令和６年１１月～令和７年2月

主　催　カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 運営委員会

後　援　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟

株式会社カリフ・柏食品株式会社

マルエス株式会社・株式会社コントリビュート

流山クラブボーイズ・ＮＥＲ企画

旬をつくる、カリフの麺。



株式会社カリフ
柏市旭4-11-8
☎04-7147-9691

第44回
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

目　次

伝統ある二本の優勝旗と優勝盃（写真）・・・・・・・・・・・・・・ 1

第44回カリフ・マルエス旗争奪少年野球決勝大会　成績表・・・・・・ 2

第44回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　概評・・・・・・・・・ 3

ベスト4チーム及び大会スナップ写真・・・・・・・・・・・・・・・ 5

ブロックリーグ戦　成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

ブロックリーグ戦　概　評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

新聞掲載記事（3月20日号）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

第44回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会出場チーム・・・・・・・ 26

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　歴代ベスト3・・・・・・・・ 27

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会開催要項（令和5年一部改正）・・・ 29

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会役員名簿（令和4年12月一部改正）・・ 32

第44回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会会計報告・・・・・・・・ 33

※写真提供は、NER企画及び決勝大会進出4チーム




カリフ杯少年野球大会
優勝
寄贈 松崎公昭


優勝 千代田ファイターズ
平成二十三年第三回優勝

第44回カリフ・マルエス旗争奪少年野球
決勝大会成績表



★★決勝大会概評★★

豊上ジュニアーズ堂々の６連覇

流山、三郷勢は善戦健闘どまり

総数６９チームが参加して１２ブロックに分かれてリーグ戦を行ない、そのうちの各ブロック上位２チーム、合計２４チームが集結して行われた第４４回カリフ・ＳＧ旗争奪少年野球決勝大会は、令和７年２月８日から９日、１１日、１５日の４日間にわたって、野田河川敷グランドに於いて開催された。

今年度の決勝大会には、三郷地区から参加した三郷ノースベァーズと市川地区から参加した平川レッドスターズが初進出したが、大会の主役は何と言っても６年連続優勝を飾った柏市の豊上ジュニアーズで、初戦のビクトリージャガーズＢ戦から順当に勝ち進み、決勝戦では今大会で旋風を巻き起こした東深井ボーイズを圧倒して堂々の優勝は、６年連続の快挙だ。

決勝大会を振り返ると、まず初日（２月８日）の１回戦８試合では豊上ジュニアーズＡの１４点を筆頭にカージナルスＡ、大橋みどりファィターズ、新和ヴィクトリー、流山ホークスＡの５チームがそれぞれ１０点以上の得点を挙げて勝利したのと、前ヶ崎クラブは７点差の完封勝ち、さらに常盤平ボーイズ、増尾レッドスターズも安定した試合内容で勝ち進んだ。

二日目の２月９日は、初日シード山に当った８チームが、１回戦を勝利したチームと対戦した。この日の試合の中では、カージナルス、増尾レッドスターズ、新和ヴィクトリーの３チームが完封勝ちして３回戦（準々決勝戦）進出を決めたほか、東深井ボーイズが実力派の常盤平ボーイズに接戦の末勝利して旋風を巻き起こした。また、今大会の主役・豊上ジュニアーズＡは同チームの弟分の豊上ジュニアーズＢと対戦して、接戦勝ちして兄貴分の貫禄を発揮した。さらに前ヶ崎クラブと流山ホークスＡの流山勢も余裕の勝利でベスト８に進出した。

ベスト４進出を賭けた大会三日目の２月９日は、４試合が行なわれた。お互いに上り調子同士で意気軒昂の東深井ボーイズとカージナルスＡの流山勢対決は、攻守に勝る東深井ボーイズの勝したが、増尾レッドスターズと三郷ノースベァーズの対戦は、接戦を極めて最終的には６－６からのサドンデス試合となり、特別回もお互いに点を取り合ったが、最後は三郷ノースベァーズが勝利してベスト４進出を決めた。その他の２試合は、豊上ジュニアーズＡが３点差で流山ホークスＡに快勝したのと、前ヶ崎クラブが１点差で新和ヴィクトリーに勝って準決勝戦への進出を決めた。

かくして２月１５日の最終日は、流山ボーイズグランドの中学部と小学部のグランドでまず準決勝戦２試合が同時に行なわれ、続いて決勝戦（中学部グランド）と三位決定戦（小学部グランド）も同時に開催された。

準決勝戦の２試合はともに勝利した豊上ジュニアズＡと東深井ボーイズのワンサイドゲーム

で、期せずして得点は７－０、しかも２試合とも４回終了のコールドゲームとなったのは珍しいケース。

しかし、続いて行なわれた三郷ノースベァーズ vs 前ヶ崎クラブの三位決定戦は、１点を争う好試合となった。２回に前ヶ崎クラブが１点を先制すれば、三郷ノースベァーズが３回に３点を挙げて逆転するなど、前半から試合は接戦ムードで緊迫感溢れた展開となった。そして前ヶ崎クラブが３回に１点を挽回して追い上げ、４回に２点を奪って逆転に成功してからの後半３イニングは、相手の反撃を０点にむ抑えて、最終的には１点差で勝利して三位を確保した。

決勝戦は豊上ジュニアーズＡの鮮やかな先制攻撃が一際光った。初回に一挙４点の奪取は、さすが今大会好調で上り調子にあった東深井ホーイズでも負担は大きすぎた。結果的には豊上ジュニアーズＡはこの先制点で早々勝負を決めたと言っても過言ではないが、２回にも大量６点を追加して東深井ボーイズを粉砕した。なお、同チームの戦いぶりはリーグ戦から常に安定していて、実力はかなりハイレベルであることを今大会では強く証明した。

この結果、同チームは平成３１年の第３８回大会から、令和３年度の第４１回大会の決勝大会未開催を除いて６年連続して優勝に輝き、今や最強チームとして実績と存在を誇示している。

なお、決勝大会では流山地区の東深井ボーイズ、前ヶ崎クラブ、流山ホークス、カージナルスなどが健闘したが、三郷地区の三郷ノースベアーズもベスト４に入って存在を大きくアピールした。しかし優勝した豊上ジュニアーズＡの前には、これらの上位進出チームも所詮は善戦健闘の域を出ず、引き立て役に終わってしまった感じだった。

以下、最終日の成績を記す。

◆準決勝戦　令和７年２月１５日　野田河川敷グランドＣ面

前ヶ崎クラブ	０	０	０	０		＝	０
豊上ジュニアーズＡ	３	１	１	２Ｘ	コールド	＝	７

◆準決勝戦　令和７年２月１５日　野田河川敷グラントＤ面

東深井ボーイズ	４	０	１	２		＝	７
三郷ノースベァーズ	０	０	０	０	コールド	＝	０

◆三位決定戦　令和７年２月１５日　野田河川敷グランドＤ面

三郷ノースベァーズ	０	０	３	０	０	０	＝	３
前ヶ崎クラブ	０	１	１	２	０	Ｘ	＝	４

◆決勝戦　令和７年２月１５日　野田河川敷グランドＣ面

東深井ボーイズ	０	０	１	０	＝	１
豊上ジュニアーズＡ	４	６	０	Ｘ	＝	１０





2025 CHAMPION



優勝　豊上ジュニアーズ



準優勝　東深井ボーイズ



第三位　前ヶ崎クラブ



第四位　三郷ノースベアーズ

開会式

於　野田河川敷グランド





前年度優勝＆準優勝チームからの
優勝旗・準優勝旗返還







元気に選手宣誓



松崎会長



熱戦スナップ!

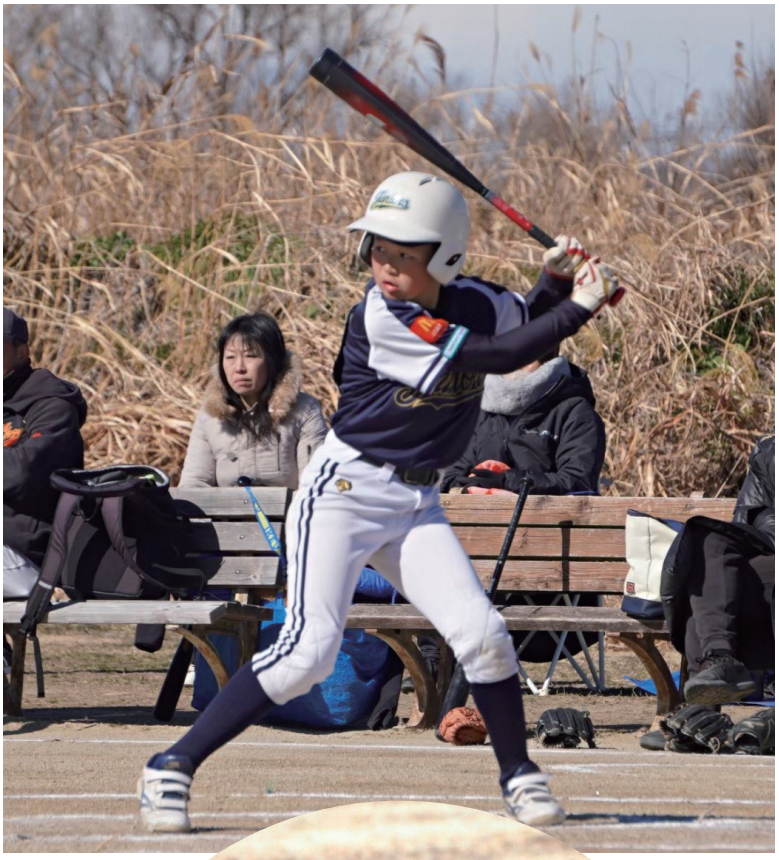


















































受賞式

令和7年2月15日
於　野田河川敷グランド



優勝　豊上ジュニアーズ



準優勝　東深井ボーイズ



第3位　前ヶ崎クラブ





第4位　三郷ノースベアーズ

ブロックリーグ戦　勝敗表

Ablock

順位		カージナルス	みさと団地ライオンズ	野菊野ファイターズ	千代田ファイターズ	若草	南部ルーキーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	カージナルス（流山）		○ 12−1	○ 9−1	○ 18−1	○ 14−2	○ 5− 0	5	5	0	0	10	58	5	53
2	みさと団地ライオンズ（三郷）	● 1−12		● 2−11	○ 8−3	○ 7−0	○ 9−3	5	3	2	0	6	27	29	△2
3	野菊野ファイターズ（松戸）	● 1−9	○ 11−2		● 6−7	△ 10−10	○ 5−4	5	2	2	1	5	33	32	1
4	千代田ファイターズ（柏）	● 1−18	● 3−8	○ 7−6		● 4−6	○ 7−5	5	2	3	0	4	22	43	△21
5	若草（柏）	● 2−14	● 0−7	△ 10−10	○ 6−4		● 7−8	5	1	3	1	3	25	43	△18
6	南部ルーキーズ（野田）	● 0−5	● 3−9	● 4−6	● 5−7	○ 8−7		5	1	4	0	2	20	33	△13

Bblock

順位		常盤平ボーイズ	北柏スーパーナイン	加賀シオトルズ	カージナルスB	ブラックバード	流山マリーンズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	常盤平ボーイズ（松戸）		○ 22−0	○ 21−0	○ 13−0	○ 8−0	○ 21−0	5	5	0	0	10	85	0	85
2	北柏スーパーナイン（柏）	● 0−22		○ 4−2	○ 10−4	● 1−4	○ 7−2	5	3	2	0	6	22	34	△12
3	加賀シャトルズ（柏）	● 0−21	● 2−4		○ 7−5	○ 3−2	○ 7−3	5	3	2	0	6	19	35	△16
4	カージナルスB（流山）	● 0−13	● 4−10	● 5−7		○ 9−8	○ 6−5	5	2	3	0	4	24	43	△19
5	ブラックバード（我孫子）	● 0−8	○ 4−1	● 2−3	● 8−9		○ 6−2	5	2	3	0	4	20	23	△3
6	流山マリーンズ（流山）	● 0−21	● 2−7	● 3−7	● 5−6	● 2−6		5	0	5	0	0	12	47	△35

ブロックリーグ戦　勝敗表

C block

順位		流山ホークスA	三郷ノースベアーズ	ビクトリージャガーズA	松戸KSカージナルス	光ケ丘シャークス	鰭ケ崎ジュニアフインズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	流山ホークスA（流山）		○ 16−1	○ 19−4	○ 21−0	○ 15−0	○ 15−0	5	5	0	0	10	86	5	81
2	三郷ノースベアーズ（三郷）	● 1−16		○ 8−5	○ 13−4	○ 11−1	○ 11−1	5	4	1	0	8	44	27	17
3	ビクトリージャガーズA（柏）	● 4−19	● 5−8		○ 8−6	○ 9−6	△ 4−4	5	2	2	1	5	30	43	△13
4	松戸KSカージナルス（松戸）	● 0−15	● 1−11	● 6−9		○ 24−4	○ 11−0	5	2	3	0	4	45	46	△1
5	光が丘シャークス（柏）	● 0−21	● 4−13	● 6−8	● 4−24		○ 16−1	5	1	4	0	2	29	64	△35
6	鰭ケ崎ジュニアフインズ（流山）	● 0−15	● 1−11	△ 4−4	● 0−11	● 1−16		5	0	4	1	1	10	59	△49

D block

順位		松葉ニューセラミックス	ビクトリージャガーズB	新木野コンドル	初石クーガーズ	流山ホークスB	五香メッツ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	松葉ニューセラミックス（柏）		○ 1−0	○ 14−0	○ 7−5	○ 4−2	○ 9−0	5	5	0	0	10	35	7	28
2	ビクトリージャガーズB（柏）	● 0−1		○ 21−0	○ 17−0	○ 19−0	○ 12−0	5	4	1	0	8	69	1	68
3	新木野コンドル（我孫子）	● 0−14	● 0−21		○ 8−4	● 4−6	○ 11−3	5	2	3	0	4	23	48	△25
4	初石クーガーズ（流山）	● 5−7	● 0−17	● 4−8		△ 6−6	○ 5−4	5	1	3	1	3	20	42	△22
5	流山ホークスB（流山）	● 2−4	● 0−19	○ 6−4	△ 6−6		● 6−12	4	1	3	1	3	20	45	△25
6	五香メッツ（松戸）	● 0−9	● 0−12	● 3−11	● 4−5	○ 12−6		4	1	4	0	0	19	43	△24

ブロックリーグ戦　勝敗表

E block

順位		東深井ボーイズ	豊上ジュニアーズB	流山シャークス	柏ドリームス	湖北フレンズ・サンスパッツ合同	根木内ヤングスターズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	東深井ボーイス（流山）		○ 9−8	○ 8−1	○ 4−3	○ 4−2	○ 10−5	5	5	0	0	10	35	19	18
2	豊上ジュニアーズB（柏）	● 8−9		○ 7−3	● 3−4	○ 13−2	○ 12−6	5	3	2	0	6	43	24	19
3	流山シャークス（流山）	● 1−8	● 3−7		○ 4−1	○ 8−3	○ 12−2	5	3	2	0	6	28	21	7
4	柏ドリームス（柏）	● 3−4	○ 4−3	● 1−4		○ 6−5	○ 10−2	5	3	2	0	6	24	18	6
5	湖北フレンズ サンスパッツ合同（我孫子）	● 2−4	● 2−13	● 3−8	● 5−6		○ 7−1	5	1	4	0	2	19	32	△13
6	根木内 ヤングスターズ（松戸）	● 5−10	● 6−12	● 2−12	● 2−10	● 1−7		5	0	5	0	0	16	51	△35

F block

順位		増尾レッドスターズ	リトルイーグルス	加岸ベァーズ	沼南ファイヤーズ	双葉	GBC流山	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	増尾レッドスターズ（柏）		○ 10−3	○ 12−0	○ 7−0	○ 14−0	○ 14−2	5	4	1	0	10	57	5	52
2	リトルイーグルス（我孫子）	● 3−10		○ 12−1	○ 5−2	○ 12−5	○ 18−2	5	4	1	0	8	50	20	30
3	加岸ベァーズ（流山）	● 0−12	● 1−12		○ 4−3	△ 4−4	○ 22−8	5	2	2	1	5	31	39	△8
4	沼南ファイヤーズ（柏）	● 0−7	● 2−5	● 3−4		○ 12−5	○ 16−7	5	2	3	0	4	33	28	5
5	双葉（松戸）	● 0−14	● 5−12	△ 4−4	● 5−12		○ 26−6	5	1	3	1	3	40	48	△8
6	GBC流山（流山）	● 2−14	● 2−18	● 8−22	● 7−16	● 6−26		5	0	5	0	0	25	96	△71

ブロックリーグ戦　勝敗表

Gblock

順位		豊上ジュニアーズA	新和ヴィクトリー	長崎FLB	大船コンドルズ	リトルベァーズ	ありんこアントス	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	豊上ジュニアーズA（柏）		○ 11−2	○ 9−0	○ 14−6	○ 22−2	○ 35−0	5	5	0	0	10	91	10	81
2	新和ヴィクトリー（三郷）	● 2−11		○ 11−6	○ 8−1	○ 16−2	○ 27−3	5	4	1	0	8	64	23	41
3	長崎FLB（流山）	● 0−9	● 6−11		○ 16−2	○ 10−6	○ 17−0	5	3	2	0	6	49	28	21
4	大船コンドルズ（柏）	● 6−14	● 1−8	● 2−16		○ 5−4	○ 24−0	5	2	3	0	4	38	42	△4
5	リトルベァーズ（松戸）	● 2−22	● 2−16	● 6−10	● 4−5		○ 14−1	5	1	4	0	2	28	54	△26
6	ありんこアントス（流山）	● 0−35	● 3−27	● 0−17	● 0−24	● 1−14		5	0	5	0	0	4	##	△117

Hblock

順位		大橋みどりファイターズ	八木南クラブ	江戸川台フェニックス	沼南フラワーズ	豊四季イーグルス	白山クラブ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	大橋みどりファイターズ（松戸）		○ 13−3	○ 24−3	○ 14−0	○ 21−1	○ 13−6	5	5	0	0	10	85	13	72
2	八木南クラブ（流山）	● 3−13		○ 5−3	○ 18−1	○ 15−0	○ 19−1	5	4	1	0	8	61	18	43
3	江戸川台フェニックス（流山）	● 3−24	● 3−5		○ 11−10	○ 6−4	○ 17−2	5	3	2	0	6	40	45	△5
4	沼南フラワーズ（柏）	● 0−14	● 1−18	● 10−11		● 3−9	○ 25−1	5	1	4	0	2	39	53	△14
5	豊四季イーグルス（柏）	● 1−21	● 0−16	● 4−6	○ 9−3		● 4−6	5	1	4	0	2	18	52	△34
6	白山クラブ（我孫子）	● 6−13	● 1−19	● 2−17	● 1−25	○ 6−4		5	1	4	9	2	16	78	△62

ブロックリーグ戦　勝敗表

I block

順位		平川レッドスターズ	野田ドンキーズ	高塚新田ラークス	小田急ライオンズ	新柏ツインズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	平川レッドスターズ（市川）		○ 4−1	○ 2−1	○ 9−2	○ 8−3	4	4	0	0	8	23	7	16
2	野田ドンキーズ（野田）	● 1−4		○ 4−2	○ 15−2	○ 8−2	4	3	1	0	6	28	10	18
3	高塚新田ラークス（松戸）	● 1−2	● 2−4		○ 10−5	○ 14−2	4	2	2	0	4	27	13	14
4	小田急ライオンズ（流山）	● 2−9	● 2−15	● 5−10		○ 2−1	4	1	3	0	2	11	35	△24
5	新柏ツインズ（柏）	● 3−8	● 2−8	● 2−14	● 1−2		4	0	4	0	0	8	32	△24

J block

順位		高柳サンダース	前ヶ崎クラブ	ナスパマリーンズ	セントラルパークス	野田ジャガーズ	西新田クーガーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	高柳サンダース（柏）		○ 10−2	○ 5−1	○ 3−0	○ 24−2	○ 16−1	5	5	0	0	10	58	6	52
2	前ヶ崎クラブ（流山）	● 2−10		○ 4−2	○ 4−3	○ 14−2	○ 16−2	5	4	1	0	8	40	19	21
3	ナスパマリーンズ（成田）	● 1−5	● 2−4		○ 7−1	○ 13−3	○ 8−2	5	3	2	0	6	31	15	16
4	セントラルパークス（松戸）	● 0−3	● 3−4	● 1−7		○ 10−2	○ 8−0	5	2	3	0	4	22	16	6
5	野田ジャガーズ（野田）	● 2−24	● 2−14	● 3−13	● 2−19		○ 7−2	5	1	4	0	2	16	63	△47
6	西新田クーガーズ（野田）	● 1−16	● 2−16	● 2−8	● 0−8	● 2−7		5	0	5	0	0	7	55	△48

ブロックリーグ戦　勝敗表

Kblock

順位		清水タイガース	向小金ファイターズ	伊勢原ジャガーズ柏リアノス連合	牧の原ジュニアーズ	八柱サンジュニアーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	清水タイガース（野田）		○ 8−6	● 4−6	○ 9−3	○ 7−5	4	3	1	0	6	28	20	8
2	向小金ファイターズ（流山）	● 6−8		○ 12−1	○ 6−2	○ 7−3	4	3	1	0	6	31	14	17
3	伊勢原ジャガーズ柏リアノス連合（柏）	○ 6−4	● 1−12		○ 7−1	● 7−11	4	2	2	2	4	21	28	△7
4	牧の原ジュニアーズ（松戸）	● 3−9	● 2−6	● 1−7		○ 15−9	4	1	3	0	2	21	31	△10
5	八柱サンジュニアーズ（松戸）	● 5−7	● 3−7	○ 11−7	● 9−15		4	0	4	0	0	28	36	△8

Lblock

順位		酒井根東グリーンズ	小金原ビクトリー	野田ブレーブス中地	南流ファイターズ	矢切コンドルス	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	酒井根東グリーンズ（柏）		○ 7−5	△ 5−5	○ 11−2	○ 16−5	4	3	0	1	7	39	17	22
2	小金原ビクトリー（松戸）	● 5−7		○ 2−1	○ 7−0	○ 11−0	4	3	1	0	6	25	8	17
3	野田ブレーブス中地（野田）	△ 5−5	● 1−2		○ 18−1	○ 11−4	4	2	2	0	4	35	12	23
4	南流ファイターズ（流山）	● 2−11	● 0−7	● 1−18		○ 7−4	4	1	3	0	2	10	40	△30
5	矢切コンドルス（松戸）	● 5−16	● 0−11	● 4−11	● 4−7		4	0	4	0	0	13	45	△32

★ブロックリーグ戦 概評★

◆Ａブロック

攻守に安定して確実に勝利を掴んだカージナルスが５戦全勝で首位。同チームの５試合での総得点５８点（１試合平均１１．６）と総失点５点（１試合平均1）がそれを証明している。

２位以下は熾烈な星の潰しあいで大激戦となったが、その中でみさと団地ライオンズは３位となった野菊野フイターズに敗れて２敗したものの、野菊野ファイターズが下位の若草と引き分け、千代田ファイターズに敗れたことで、勝数の差で２位となった。

野菊野ファイターズは千代田ファイターズか若草のどちらかに勝てば２位のチャンスはあったが、最終的に２勝２敗１引き分けで無念の３位に終わった。

４位以下の３チームは、決勝大会進出とは関係なく最終週まで激戦を展開して活気があった。

◆Ｂブロック

常盤平ボーイズの実力が突出していて、同チームの超独走に終わった。同チームの５戦は全て完封勝ちで、５試合で挙げた総得点８５点（１試合平均１７）は、Ｇブロックの豊上ジュニアーズの９１点に次ぐ高記録だが、５試合全てに完封勝ちしたのは、大会史上始めての快記録である。

２位争いは北柏スーパーナインを含む４チームで大激戦をた展開した。最終的には北柏スーパーナインと加賀シャトルズが３勝２敗の同成績で並んだが、順位は直接対決で勝っている北柏スーパーナインが上位で、加賀シャトルは無念の涙を飲んだ。

また、４位争いも決勝大会への進出とは関係なく、カージナルスＢとブラックバードが２勝３敗の同成績で並んだが、こちらも対戦勝者のカージナルスＢが上位となった。

◆Ｃブロック

攻守に最も安定した実力を発揮した流山ホークスＡが、５試合全てを余裕で勝利して首位、他の５チームとレベルの違いを見せた。ちなみに、同チームが５試合で挙げた総得点８６点（１試合平均１７．２）はリーグ戦全体では２番目の高記録で、総失点５点（１試合平均1）は同３番目に少ない記録。

興味は決勝大会への進出権を賭けた２位争いで、これは三郷ノースベァーズとビクトリージャガーズＡ、松戸ＫＳカージナルスの３チームでサバイバル戦を展開したが、最終的にはライバルの２チームに勝って４勝を挙げた三郷ノースベァーズが２位となって決勝大会への進出権を獲得した。

◆Ｄブロック

松葉ニューセラミックスとビクトリージャガーズＢのマッチレースとなり、最終的にはこの２チームの直接対決で僅差勝ちした松葉ニューセラミックスが５戦全勝で首位、敗れたビクトリージャガーズＢは４勝１敗で２位となったが、ともに順当に決勝大会への進出を決めた。

なお，全勝した松葉ニューセラミックスは、全５勝のうち３試合は僅差の接戦勝ちだったが、デフェンス力か良く粘り強さが目立った。逆に松葉に敗れたビクトリージャガーズＢは、松葉戦以外の４試合は全て１０点以上の得点を挙げての完封勝ちだったが、唯一松葉に１失点で敗れたのは痛かった。しかしながら、ブロック２位のチームがリーグ戦で僅か１失点だったのは非常に珍しいケース。総得点６９点（１試合平均１３．８）もリーグ戦全体では同５番目の高記録。

３位以下の４チームは、決勝大会進出とは別次元で熾烈な星の潰しあいを演じて、最終成績が全敗チームがないほど縺れたが、この４チームの激戦はリーグ戦全体では最も活気があった。

◆Ｅブロツク

５戦全勝で首位となった東深井ホーイズは、全勝利のうち１点差勝ちが２試合、２点差勝ちが２試合と接戦したが、粘り強さを発揮して接戦に勝利したのが首位を獲得した最大の要因。

対抗馬の豊上ジュニアーズＢと流山シャークス、柏ドリームスの３チームは、ともに東深井ボーイズに敗れたものの、最後はこの３チームがせり合って３勝２敗の同成績、しかも三つ巴となったため、最終的には順位は得失点差による決着となった。その結果、豊上ジュニアーズＢが２位となって、決勝大会の進出権を獲得した。

なお、３位は流山シャークス、４位は柏ドリームとなったが、このブロックは首位となった東深井ボーイズと併せて、上位４チームの実力がほぼ拮抗していた。

◆Ｆブロック

５戦全勝で首位となった増尾レッドスターズの安定した戦いぶりがとくに目立った。５勝のうち完封勝が３試合あり、他の２勝も大差で２位以下のチームとは明らかに質力の違いをみせた。ちなみに、同チームが５試合で挙げた総得点５７点（１試合平均１１．４）はリーグ戦全体では８番目に多い記録で、聡失点５(当１点)は３番目に少ない記録。

２位争いは、増尾レッドスターズには完敗したが、ほかの４試合を手堅く勝利したリトルイーグルスが４勝１敗で確保した。

３位となった加岸ベァーズは、２位を賭けたリトルイーグルス戦に敗れたのが痛く、さらに下位の双葉に引き分けては、所詮決勝大会進出は無理たった。

◆Ｇブロック

豊上ジュニアーズが５試合で驚異的な記録を残して全勝、文句なしの首位を決めた。ちなみに、

同チームが５試合で挙げた総得点は何と９１点（１試合平均１８．２）で、これは歴代のリーグ戦の中では最高の記録。ありんこアントス戦で３５得点、リトルベァーズ戦で２２得点を挙げた快記録が驚異的な得点を挙げた要因のひとつだが、この点を差し引いても同チームの実力は、今大会のなかでは郡を抜いて最強であることは間違いない。

２位は豊上ジュニアーズＡに大敗した新和ヴィクトリーが、４勝１敗の成績で確保して決勝大会進出を決めたが、これは３位の長崎ＦＬＢ戦に勝ったことが大きかった。逆に新和ヴィクトリー戦に敗れた長崎ＦＬＢは、下位３チームに勝っていただけに、この１敗が致命傷となって決勝大会への進出を逸した。

◆Ｈブロック

大橋みどりファイターズが５試合全てに１０点以上を挙げて全勝、突出した成績で首位となった。ちなみに、同チームが５試合で挙げた総得点は８５点で、これはリーグ戦全体では１番の豊上ジュニアーズ、２番の流山ホークスに次ぐ３番目の高記録で、Ｂフロックの常盤平ボーイズと並び打撃力の高さを物語っている。

２位争いは、八木南クラブと江戸川台フェニックスの流山勢同士の対決で勝利した八木南クラブが４勝１敗で確保したが、敗れた江戸川台フェニックスはこの１敗で決勝大会への進出を逸した。

沼南フラワーズと豊四季イーグルス、白山クラブの３チームは、１勝４敗の同成績で三つ巴となったため、順位は得失点差による決着となった。

◆Ｉブロック

このブロックと、Ｋ、Ｌブロックだけが５チーム構成でのリーグ戦。市川市から参加した平川レッドスターズが４戦全勝で首位となった。同チームはとくに目立った破壊力はないが、攻守にまとまって、安定した戦いぶりを見せたのが素晴らしかった。

同チームに敗れた野田ドンキーズは、他の３チームに勝ったことで３勝１敗となって２位を確保して、決勝大会への進出権を決めた。

３位以下は勝ち星の差によって順位が決定したが、高塚新田ラークスは野田ドンキーズとは接戦だっただけに、惜敗して決勝大会へのチャンスを逸したのが残念だった。

◆Ｊブロック

高柳サンダースが実力派らしい戦い振りを発揮して。５試合を余裕で勝利した。同チームは打撃力はもとより、デフェンスの良さが（１試合の平均失点１，２点）がとくに目立った。

前ヶ崎クラブは高柳サンダースには大敗したが、他の４試合を手堅く勝利したことで２位を確保した。

成田市から参加したナスパマリーンズは、上位２チームとの敗戦により３位。以下順位は勝ち星の差で決定した。

◆Kブロック

全５チームで熾烈な星の潰しあい演じて最後まで上位２チームの決定が縺れた最激戦ブロック。最終的に首位となった清水タイガースは、伊勢原シャガーズ・柏リアノス連合に敗れて１敗したが、同じ１敗の向小金ファィターズとの直接対決で勝利したことで、首位となった。

一方敗れた向小金ファイターズだが、ほかの３試合に勝ったことで、３勝して清水タイガースとは同成績のながら、順位は２位で決勝大会への進出決めた。ちなみに、この２チームの実力は対戦内容から判断してほぼ同じレベルと見られた。

３位となった伊勢原ジャガーズ・柏リアノス連合は、首位の清水タイガースに勝ったのは見事だったが、下位の八柱サンジュニアーズに敗れたのが痛恨で、この１敗で決勝大会進出のチャンスを逸した。

◆Lブロック

酒井根東グリーンズが３位となった野田ブレーブス中地と引き分けたが、最終的に３勝１引き分けの無傷で首位を確保した。

惜しかったのは酒井根東グリーンズに惜敗して３勝１敗となった小金原ビクトリーで、順位は２位で決勝大会進出は決めたものの、同チームに勝てば首位のチャンスはあっただけに、この点は惜しかった。

同様に、酒井根東グリーンズと引き分けた野田ブレーブス中地は、小金原ビクトリーに僅少差で敗れたのが最大の痛恨。この試合に勝っていれば２位はおろか、首位の可能性もあっただけに、この敗戦は致命傷となった。

以上３チームの実力は拮抗しており、このブロックはこの３チームによる激戦が最大ハイライトとなった。、



新聞掲載記事

21世紀を担う子どもたちのふるさとづくりと時代を創造するタウン情報紙

朝日れすか PLUS

れ レジャー LEISURE　す スポーツ SPORT　か カルチャー CULTURE　ASA子ども スポーツ新聞 スポーツキッズ

No. 459　2025年(令和7年)3月20日号　毎月20日にASAからお届け

発 行／朝日れすか編集室 協 力／千葉北部朝日会 https://www.resuka.co.jp/ 朝日れすか

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19-3F［TEL］04(7143)4021［FAX］04(7143)3453

■130,000部発行 ■配布地域／松戸市・柏市・流山市・野田市・我孫子市・印西市・鎌ケ谷市・白井市・市川市、習志野市一部

野球　カリフ・マルエス旗大会

大量10点 豊上V6

第44回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会の決勝（5年生以下）が2月15日、野田市の江戸川河川敷運動広場であり、豊上ジュニアーズA（柏市）が東深井ボーイズ（流山市）を10－1で下し、6連覇を達成した。3位は前ケ崎クラブ（流山市）だった。

大会には東葛地域を中心に69チームが参加した。新シーズンに向けた代表チームづくりの試金石ともなる重要な大会だ。

	東深井ボーイズ	豊上ジュニアーズA
4	0	
6	0	
0	1	
X	0	
10	1	



優勝した豊上ジュニアーズ（5年生以下）

準決勝を、ともに7－0のコールドゲームで快勝した両チームの戦いは、初回から豊上が圧倒した。豊上は初回、無死一、二塁で神林駿采がライトへの三塁打で2点を先制し、その後も2点を追加した。豊上は二回、神林のスリーランを含む猛攻を見せ、一挙6得点し、試合を決定づけた。東深井も三回表に1点を返すも追加点が奪えず、四回コールドで豊上が勝利した。

この試合の指揮を執った豊上ジュニアーズAの原口守コーチは「最後のところで課題の残る試合だった」と三回での失点を悔やみ、「相手に関係なく、自分たちの野球を精度高くできるように仕切り直したい」と話した。5打点の活躍を見せた主将の神林は「初回に点を取れたことはよかったが、2アウトからイニングをしっかり終わらせていくことに課題が残りました」と試合を振り返り「今年こそは全国大会で優勝し、（高野範哉）監督の笑顔を見たい」と次の目標を見据えた。昨年行われた2024年度関東近県学童野球（5年生以下）で優勝した同チームの目標は、日本一だ。



5打点の活躍を見せた豊上ジュニアーズAの神林駿采

※朝日スポーツキッズ No.365号 2025年（令和7年）3月20日号掲載

第４４回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 出場チーム

◆柏地区（２０）

千代田ファィターズ
若草
北柏スーパーナイン
加賀シャトルズ
ビクトリージャガーズＡ
ビクトリージャガーズＢ
光ケ丘シャークス
松葉ニューセラミックス
豊上ジュニアーズＡ
豊上ジュニアースＢ
柏ドリームス
増尾レッドスターズ
沼南ファイヤーズ
豊四季イーグルス
新柏ツインズ
高柳サンダース
酒井根東グリーンズ
沼南フラワーズ
大船コンドルズ
伊勢原ジャガーズ・
　　柏リアノス連合

◆流山地区（１９）

カージナルスＡ
カージナルスＢ
流山マリーンズ
流山ホークスＡ
流山ホークスＢ
鰭ヶ崎ジニアフインズ
初石クーガーズ
流山シャークス
東深井ボーイズ
加岸ベァーズ
長崎ＦＬＢ
ありんこアントス
八木南クラブ
江戸川台フェニックス
小田急ライオンズ
前ヶ崎クラブ
南流ファイターズ
向小金ファイターズ
ＧＢＣ流山

◆野田地区（６）

南部ルーキーズ
野田ドンキーズ
野田ブレーブス中地
西新田クーガーズ
清水タイガース
野田ジャカーズ

◆松戸地区（１４）

常盤平ボーイズ
松戸ＫＳカージナルス
五香メッツ
根木内ヤングスターズ
野菊野ファィターズ
リトルベァーズ
大橋みどりファイターズ
高塚新田ラークス
小金原ビクトリー
八柱サンジュニアーズ
牧の原ジュニアーズ
矢切コンドルズ
セントラルパークス
　双葉

◆三郷地区（３）

みさと団地ライオンズ
三郷ノースベァーズ
新和ヴィクトリー

◆我孫子地区（５）

新木野コンドル
リトルイーグルス
白山クラブ
ブラックバード
湖北フレンズ・サンスパッツ合同

◆市川地区（１）

平川レッドスターズ

◆成田地区（１）

ナスパマリーンズ



カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　歴代ベスト3

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
1	昭和57年 1982	15	リアノス（柏）	伊勢原ジャガーズ（柏）	カージナルス（流山）
2	昭和58年 1983	28	初石クーガーズ（流山）	伊勢原ジャガーズ（柏）	リアノス（柏）
3	昭和59年 1984	28	千代田ファイターズ（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）	江戸川台アトラス（流山）
4	昭和60年 1985	36	松葉ニューセラミックス（柏）	ありんこアントス（流山）	つくしが丘ファイブス（柏）
5	昭和61年 1986	36	リアノス（柏）	増尾レッドスターズ（柏）	加岸クラブ（流山）
6	昭和62年 1987	42	増尾レッドスターズ（柏）	向小金ファイターズ（流山）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
7	昭和63年 1988	42	千代田ファイターズ（柏）	増尾クラブ（柏）	名戸ヶ谷ウォリアーズ（柏）
8	平成元年 1989	47	松葉ニューセラミックス（柏）	西山イーグルス（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）
9	平成2年 1990	48	柏ヤンガーズ（柏）	ありんこアントス（流山）	光団ファイターズ（柏）
10	平成3年 1991	48	ありんこアントス（流山）	増尾レッドスターズ（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
11	平成4年 1992	50	千代田ファイターズ（柏）	増尾クラブ（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）
12	平成5年 1993	56	千代田ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	トライスター（柏）
13	平成6年 1994	55	西山イーグルス（柏）	泉ライオンズ（流山）	ありんこアントス（流山）
14	平成7年 1995	54	ありんこアントス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	梅郷パワーズ（野田）
15	平成8年 1996	51	高野台ジャガーズ（柏）	梅郷パワーズ（柏）	トライスター（柏）
16	平成9年 1997	48	前ヶ崎クラブA（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	清水タイガース（野田）
17	平成10年 1998	54	松葉ニューセラミックス（柏）	千代田ファイターズ（柏）	豊四季イーグルス（柏）
18	平成11年 1999	54	千代田ファイターズ（柏）	清水タイガース（野田）	八景台ジュニアーズ（松戸）
19	平成12年 2000	57	千代田ファイターズ（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	向小金ファイターズ（流山）
20	平成13年 2001	56	千代田ファイターズ（柏）	松葉ニューセラミックス（柏）	前ヶ崎クラブ（流山）
21	平成14年 2002	59	千代田ファイターズ（柏）	串崎スワローズ（松戸）	セントラルパークス（松戸）
22	平成15年 2003	61	長崎FLB（流山）	大津が丘ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）
23	平成16年 2004	64	松葉ニューセラミックス（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	久寺家エラーズ（我孫子）
24	平成17年 2005	72	初石クーガーズ（流山）	東深井ファイナルズ（流山）	加岸ベアーズ（流山）
25	平成18年 2006	81	加岸ベアーズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	加賀シャトルズ（柏）
26	平成19年 2007	90	千代田ファイターズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）	松葉ニューセラミックス（柏）
27	平成20年 2008	80	串崎スワローズ（松戸）	松葉ニューセラミックス（柏）	柏ビクトリー（柏）
28	平成21年 2009	76	野田ドンキーズ（野田）	セントラルパークス（松戸）	串崎スワローズ（松戸）
29	平成22年 2010	82	初石クーガーズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏） 常盤平ボーイズ（柏）
30	平成23年 2011	78	高野台ジャガーズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）	豊上ジュニアーズ（柏） 流山ホークス（流山）

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
31	平成24年 2012	81	高野台ジャガーズ　（柏）	カージナルス　（流山）	江戸川台フェニックス（流山）
32	平成25年 2013	72	高野台ジャガーズ　（柏）	豊上ジュニアーズ　（柏）	セントラルパークス　（松戸）
33	平成26年 2014	72	※悪天候等の影響により、決勝大会は中止。各ブロック1位・2位の表彰をもって終幕。		
34	平成27年 2015	68	流山マリーンズ　（流山）	カージナルス　（流山）	柏ドリームス　（柏）
35	平成28年 2016	71	松戸スラッガーズ　（松戸）	野菊野ファイターズ　（松戸）	三郷スターズ　（三郷）
36	平成29年 2017	64	リトルジャガーズ（我孫子）	南部ルーキーズ　（野田）	長崎FLB　（流山）
37	平成30年 2018	69	セントラルパークス（松戸）	豊上ジュニアーズ　（柏）	松葉ニューセラミックス（柏）
38	平成31年 2019	67	豊上ジュニアーズ　（柏）	流山ホークス　（流山）	常盤平ボーイズ　（柏）
39	令和元年 2020	68	豊上ジュニアーズ　（柏）	リトルイーグルス　（我孫子）	野菊野ファイターズ　（松戸）
40	令和2年 2021	66	豊上ジュニアーズ　（柏）	豊上ジュニアーズB　（柏）	東深井ボーイズ　（流山）
41	令和3年 2022	63	※決勝大会は行われず、ブロック首位チームが優勝扱い。		
42	令和4年 2023	66	豊上ジュニアーズA（柏）	常盤平ボーイズ　（松戸）	八木南クラブ　（流山）
43	令和5年 2024	67	豊上ジュニアーズA（柏）	常盤平ボーイズ　（松戸）	高柳サンダース　（柏）
44	令和6年 2025	68	豊上ジュニアーズA（柏）	東深井ボーイズ　（流山）	前ヶ崎クラブ　（流山）

（注）第29回と第30回大会は、三位決定戦を行わず2チーム同成績



カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　開催要項

（令和5年一部改正）

主催･主管　カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会運営委員会
共　　催　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟
後　　援　株式会社カリフ・柏食品株式会社　　マルエス株式会社
株式会社共同写真企画　　流山クラブボーイズ

開催期間　ブロックリーグ戦
原則として抽選会以降の１０月から翌年1月中旬頃までに終了させる。
決勝トーナメント大会
翌年１月下旬から２月中旬までの土・日曜日・祝日に開催（雨天順延）

開催方法
・出場資格は５年生以下の新チームとする。
・全日本軟式野球連盟（少年野球）規則及び千葉県、各市内大会の規則に準ずる。
・参加チームを複数のブロックに分け、それぞれ総当りのリーグ戦によって上位２チームまでが決勝トーナメント大会に出場出来る。なお、１ブロックの構成は５～８チームをベースとする。
・試合方法は全試合６回の時間制とし、試合時間はシートノックを除き正味１時間３０分。シートノックは５分以内とする。
・試合の終了は、３アウト目が主審の時計で１分を切っている場合は試合終了。１分以上の残り時間がある場合は次の回に入る。但し、６回までとする。
・リーグ戦での得点によるコールドゲームはなく、全て６回または時間制。６回終了及び時間に達しても勝負がつかない場合は引き分け。なお、リーグ戦では時間内の延長戦と特別ルールの適用は行わない。
但し、決勝トーナメント大会は、決勝戦をふくむ全試合にコールドゲーム（４回以降７点差）制が適用される。同点で勝負がつかない場合は、特別ルール（一死走者満塁、打者は前回の最終打者の次打者、走者は最終打者を含め遡って３名）を適用する。
なお、特別ルールの回数は8回までとし、それでも勝負がつかない場合は、抽選によって勝敗を決める。
・決勝大会がダブルになった場合の第一試合で、６回終了時点で勝負がつかない場合は、特別ルール（上記参照）を適用して勝敗を決める。６回終了以前で規定時間に達した場合も同様とする。
・投手の一試合での投球数を一試合70球までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。
・ベンチは若番が一塁側とし、先攻・後攻はジャンケンで決める。

順位基準　リーグ戦で同成績の場合は対戦勝利チームが上位。三つ巴になった場合は、得失点差の最も多いチームが最上位。得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位。
但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームがたとえ得失点差で上回っても、順位は３チームの中では最下位となる。
なお、リーグ戦の成績は平成２５年度より従来の勝率制を廃止して、勝点制に改正した。勝点は勝利２点、引き分け１点、敗戦０点とする。

日程編成　リーグ戦の日程は各ブロックごとに決め、グランドも同時に確保する。雨天中止などで日程の消化がズレ込んだ場合は、決勝トーナメント大会出場可能チームの日程を最優先して消化に努める。他の大会と掛け持ちのチームは、あくまでも当大会の日程消化を優先させる。
負けが込んで試合消化に意欲を失ったチームの日程消化遅延、及び試合打ち切りなどについては、とくにやむを得ない事情以外は認めない。この場合、その程度如何によっては、不戦敗（得点は０－１５）または次回からの出場停止処分の対象となるので注意して下さい。
当大会は新人の研修大会でもあり、出場チームは経験を積むためと地域交流を図る意味でも大切ですので、積極的に試合を行うよう努めて下さい。

ブロック長　ブロック長はブロックリーグ戦の運営については、全ての責任と権限を有する。リーグ戦の参加チームが、日程の編成をブロック長に一任した場合は、理由の如何を問わず必ずその決定に従う。不履行並びに日程消化に支障を来たすような行為をした場合は、当該チームは棄権（不戦敗扱いでスコアは０－１５）とみなして勧告し、その行為を２回以上犯した場合は、自動的に失格（以降の試合は出来ない）とする。
ブロック長は、大会期間中は実行委員も兼務し、大会の円滑な運営に注力する。リーグ戦については、試合の消化状況や結果を常に掌握して、一定期間内に事務局に報告することを義務付ける。

審判当番　リーグ戦については、各ブロック内で話し合って決める。他の大会との掛け持ちなどで当日の審判が出来ない場合は、その旨必ず了解を取り、後日その分を埋め合わせする。無断で不履行した場合は、当該チームは失格の対象となるので注意して下さい。
決勝トーナメント大会には、各ブロック内で決勝大会に出場出来なかったチームに、一度は審判当番（１名以上）が義務付けられます。審判当番者の服装については、無帽、サンダル履きは厳禁です。なお、決勝トーナメント大会の審判当番者には、一名につき５００円の食事代が支給されます。
決勝トーナメント大会の審判当番を不履行した場合でも、ペナルティ（次回からの出場停止ほか）の対象となりますので注意して下さい。

大会参加費　１チーム　５，０００円（抽選会の時に会計に納入して下さい）

記　　録　事務局（事業部）及びブロック長は、各ブロックリーグ戦のデータを常に掌握しておく。
当該ブロックの試合結果は勝利チームがブロック長に報告し、ブロック長はその結果をとりまとめて、速やかに下記の方法で事務局まで報告すること。

東葛親睦少年野球大会　試合結果報告
http://toukatsuareaboysbaseball.info/

参加チーム　抽選会（毎年１０月中旬から１１月初旬に開催）に出席を持って決定する。なお、当大会の抽選会には、当該チームの関係者が必ず出席することが義務付けられています。他チームへの委託及び代理は、この大会に限っては一切認められません。抽選会の後ブロック内での打ち合わせがありますので、チームの代表者、監督、コーチ、マネージャーなど詳しく予定の把握できる人の出席をお願いします。この点はくれぐれも注意してください。

開会式　決勝トーナメント大会の出場チームだけによって行うこととする。開始は原則としてＡＭ９：００も、出場チームはＡＭ８：３０までに受付を済ませる。他の大会との掛け持ちの場合でも、開会式には若干名の出場を義務付けます。また、前回の受賞チームで決勝トーナメント大会に出場出来ないチームでも、優勝旗、準優勝杯などの返還があるため、若干名は必ず出場する。なお、開会式には出場各チームの撮影があるため、プラカードは各チームで必ず持参して下さい。団旗の持込みも大歓迎です。開会式には出場チームの指導者はユニフォームを着用して、必ず最後尾に参列して下さい。

付記事項

①選手及び指導者（監督及びコーチ２名）は、ユニフォームの着用を義務付ける。但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。ベンチ入りの指導者は５名まで。選手と指導者のユニフォームには必ず背番号をつけ、主将は１０番、監督は３０番、コーチは２８番と２９番とする。

②ユニフォーム着用の指導者は、ランナーコーチに立つことが出来る。

③選手及び指導者は必ず帽子を着用する。金属のついたスパイクは禁止。ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチ（選手）ともに着用する。捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。

④冬期間の大会でもあり、審判員及び大会役員が認めた場合に限り、試合中にジャンパー、グランドコートの着用が許される。

⑤応援者の汚い野次や言動に対しては、大会役員及び当該審判員は直ちに注意を促し、改まらない場合は退場させる権限を持つ。

⑥指導者は選手の健康管理には十分気をつける。試合中の怪我や病気については、基本的には当該チームで対処し、応急処置を施してください。

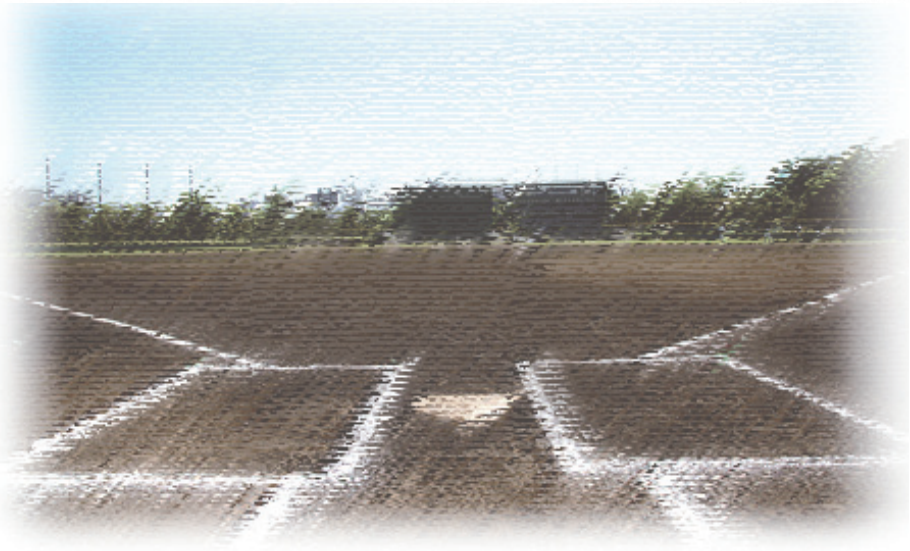
⑦リーグ戦及び決勝トーナメント大会に於いては、各チームは積極的にグランド整備や試合の準備に協力して下さい。

⑧グランドでの駐車については、所定の場所以外は他人の迷惑となりますので、とくに注意してください。なお、本会場では、出場各チームは本部役員駐車場には駐車はご遠慮ください。

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　役員

令和4年12月改選

会長	松崎太洋	株式会社カリフ代表取締役社長
副会長	堀江速人	野田市少年野球連盟会長
副会長	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長兼務		
事業部長	小泉博康	流山少年野球連盟役員
会計兼務		
運営委員	松本秀樹	流山・江戸川台フェニックス
運営副委員長兼務		
運営委員	八鍬昌次	流山市少年野球連盟役員
運営委員	亀田成美	流山・流山ホークス
運営委員	西ケ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
運営委員	池田進一	柏市少年野球連盟役員
運営委員	柿崎稔	柏市少年野球連盟役員
運営委員	小田部英彦	柏市少年野球連盟役員
運営委員	濱田健	柏市少年野球連盟役員
運営委員	上村茂樹	柏市少年野球連盟役員
運営委員	内田欽也	野田市少年野球連盟役員
運営委員	山本拓	野田市少年野球連盟役員
運営委員	相原次郎	野田・野田ロッキーズ
運営委員	我妻和憲	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	内山淳	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
顧問	山田晃一	東葛地区親睦少年野球大会会長



第４４回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

◆収入の部		合計 ￥ 516,137
大会参加費	@5,000×68チーム	￥ 340,000
寄付金（カリフ食品より）		¥30,000
前大会繰越金		￥ 146,137

◆支出の部	合計 ¥382,356
決勝トーナメント用ボール代	¥50,000
審判手当	¥18,000
賞状代	¥20,000
トロフィー代	¥96,478
編集代	￥ 5,000
冊子データ作成費	¥80,000
冊子プリント代	¥30,000
ブロック分け抽選会	￥ 2,510
決勝トーナメント抽選会	￥ 2,510
資料印刷代	¥11,376
打合せ会議費（ブロック）	￥ 8,348
打合せ会議費（決勝トーナメント）	¥11,726
旗立三脚台ほか	¥46,134

収入 ¥516,137円－支出 ¥382,356円＝収支合計　¥133,781円は第45回大会に繰り越します。

会計担当　小泉博康



Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

スポーツ少年団・イベント・その他撮影承ります。

NER企画

〒270-1121 千葉県我孫子市中峠1604-90

TEL&FAX
04-7197-0115

緊急連絡先
070-5464-4481

選手の皆様、ご出場おめでとうございます

CONTRIBUTE

Character goods Producing Company
for the All Supporters

NO SPORTS NO LIFE

お客様の「思い出」を《かたち》に

大会記念品、オリジナルグッズのご要望は...

●大会記念オーダーシート送り先
FAX:　03−5247−1998
MAIL:　info-cnbt@sweet.ocn.ne.jp
〒132-0035　東京都江戸川区平井6-57-3-1F
株式会社コントリビュート　TEL:03-6675-2505

ボールが飛んだ。こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

MARUS

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

マルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州